

# 認知症ドライバーのマイカー利用を考える

## Some considerations on dementia and driving

鳥塚俊洋

株式会社 JAF MATE 社

Toshihiro Toritsuka

JAF MATE Co., Ltd.

### 【目的】

高速道路等における逆走事故をはじめ、高齢者、特に認知症が疑われるドライバーによる交通事故の増加が危惧されている。新聞等による報道、また弊社が運営するドライブレコーダ映像のデータベースサイトの映像を見ても、交通安全の面からは放置できない危険な状況が、すでに現実の路上で発生している。法的には、認知症ドライバーの運転免許を停止することも可能ではあるが、実務上は検査、違反等の条件が揃わないと停止にはいたらないことが少なくない。一方、認知症と診断されてもマイカーの運転を希望するドライバーは多く、また、都市部を除けば、マイカーという足がなければ生活が成り立たない地域もあり、運転禁止の強制ですべて解決できるという問題でもない。

認知症ドライバーとマイカー利用については、認知症と運転に関する医学的側面、免許制度に関する法的側面、運転技術の診断／指導に関する運転技能的側面、またマイカーなしでも生活が成立できる社会を構築する社会的側面の、それぞれの分野が足並みを揃えて対策を進めなければ、おそらく解決の道筋は見えてこない。さらに、認知症患者以上に増加が考えられる認知症予備群について

は、少しでも長く安全なマイカー利用を可能にするための、予防／指導的な側面も必要になってくるだろう。

そのための前提として、前述の各分野を広くマクロに調査し、認知症ドライバーとマイカー利用の現状を考察したい。

### 【方法】

関係団体／者への取材、関連統計／論文／報道／投稿等を調査し、交通社会における認知症ドライバーの現状を洗い出す。また、それをもとに、交通社会の安全確保、認知症患者の生活維持および生活の質の向上、認知症予備群におけるドライバー適性の延長対策について考察する。

### 【結果】

全体的な交通事故件数、交通事故死者数が大幅に減少している中で、高齢者の減少率は低く、認知症ドライバーによる影響が考察される。法的な整備も進められてはいるが、課題が多い。また、免許停止の際に必要な代替交通手段の整備も十分とはいえない状況である。

### 【倫理的配慮】

個人の氏名等、個人情報が明らかにならないよう配慮する。